

# 令和5年度森林環境譲与税の使途

# 成田市の森林環境譲与税の使途内訳

(単位：千円)

事業名	事業内容	決算額	財源内訳			
			森林環境譲与税	基金取崩額	基金運用益	その他
森林保全事業	委託料	22,724		20,023		2,701
	使用料及び賃貸料	84		84		
	負担金及び交付金	185		185		

# 成田市の森林環境譲与税の使途内訳

(単位：千円)

事業名	事業内容		決算額	財源内訳			
				森林環境 譲与税	基金 取崩額	基金 運用益	その他
道路施設等管理事業	備品購入費	駅前広場の利便性向上のため、道路付属物として国産の木材を使用した据置式テーブル・ベンチを購入した。	1,078		1,078		
共同利用施設整備事業	工事請負費	小泉防音集会所を建設するにあたり、木工事について国産の木材を使用した。	92,865		2,191		90,674
森林環境整備基金積立金	基金	森林の整備及びその促進に関する施策に備え積み立てた。	19,763	19,762		1	

# 令和5年度に実施した主な事業

# 重要インフラ施設周辺森林整備

- 成田市では、令和元年の台風による大量の倒木が、道路や電線などの重要インフラ施設に多大な被害をもたらしたため、本市が事業主体となり、重要インフラ施設への倒木被害を未然に防止するための森林整備を進めている。
- 令和5年度においては、前年度に実施した森林の現況調査の結果や市民からの要望等をもとに選定した市内5か所において、県の「災害に強い森づくり事業」や森林環境譲与税を活用し、被害木や倒木の恐れがある樹木の伐倒・搬出、跡地への植栽を実施した。

## □ 事業内容

### 需要インフラ施設周辺森林整備

前年度に実施した現況調査の結果や市民からの要望等を踏まえ、市内5か所において、被害木や倒木の恐れがある樹木の伐倒・搬出、跡地への植栽を実施した。

【事業費】20,278千円（うち譲与税17,577千円）

【実績】更新伐1.25ha 特殊地拵え0.43ha 間伐0.09ha  
下刈り1.17ha

## □ 取組の背景

- ・令和元年の台風では、市内において大量の倒木が発生し、道路や電線に倒れかかり、交通障害や大規模な停電を引き起こした。

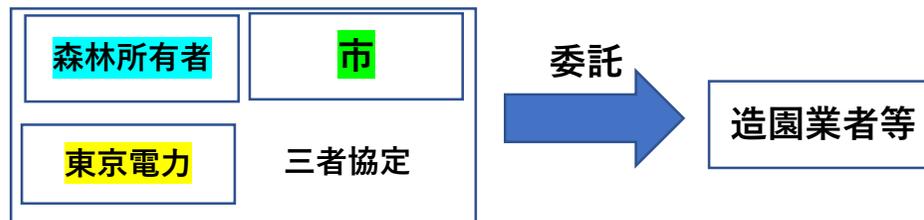


(事業実施前)



(事業実施後)

## □ 事業スキーム



※東京電力、森林所有者、市で「森林整備に係る協定書」を締結する。

## □ 工夫・留意した点

災害に強い森づくり事業の採択要件を満たさないような小規模森林や広葉樹林については、市の単独事業として、森林環境譲与税を活用し、森林整備を実施することで、効果的・効率的な森林整備を実現した。

## □ 取組の効果

- ・倒木の恐れがある樹木や被害木を伐採し、中低木の広葉樹を植栽することで、倒木の恐れがなくなり、市民の安心で安全な生活を確保することができた。
- ・イロハモミジやヤマザクラなど、華やかな広葉樹を植栽したことにより、良好な景観の形成が見込まれる。

# なりたのもりあそび体験

- 成田市では、森林所有者の高齢化等により、荒廃した森林が増加しており、子供たちが里山で遊ぶ機会がほとんどなくなってしまっていた。
- このような現状を踏まえ、森林環境譲与税を活用し、児童を対象とした「もりあそび体験」を実施することで、里山への理解や関心を深めてもらうとともに、本市における里山活動に興味を持っていただく事業に取り組んだ。

## □ 事業内容

- ・ 現地にある自然で工夫して遊び、森の素晴らしさや豊かさを実感するプログラムとなっている。具体的にはじゃんけん落ち葉拾い、葉っぱじゃんけん、秋のビンゴ、どんぐりゲーム、葉っぱのステンドグラス、落ち葉飛ばし、落ち葉のゆくえ、絵本の読み聞かせの8種類のプログラムを実施した。

【事業費】212千円（全額森林環境譲与税）

【実績】成田市立大栄みらい学園1年生42名を対象に実施

## □ 取組の背景

- ・ 多様な遊び方が増えたことや里山の荒廃により、子供たちが里山で遊ぶ機会はほとんどなくなっている。

## □ 工夫・留意した点

- ・ 児童を4班に分け、それぞれに自然観察指導員が付き、児童が、森の素晴らしさや豊かさを実感できるようにプログラムの流れを工夫した。

## □ 取組の効果

- ・ 今回のもりあそび体験を通して、児童が自然と触れ合うことで、里山への理解や関心を深め、将来、担い手となる人材を育むきっかけとなった。
- ・ 児童も初めて見る虫や葉っぱ、木の実に興味を持ち、熱心に取り組んでいた。

## □ 森遊び体験の様子



(じゃんけん落ち葉拾い)



(葉っぱのステンドグラス作成)



(落ち葉飛ばしの様子)



(絵本の読み聞かせの様子)

# 里山保全ボランティア研修

- 成田市では、森林所有者の高齢化等により、荒廃した森林が増加しており、森林を整備する担い手の確保が急務となっている。
- このような現状を踏まえ、里山活動に興味がある方や自然と触れ合う機会を持ちたい方を対象に、里山活動についての研修を実施することで、担い手の育成を図った。
- 令和5年度は、市内外延べ19名の方に対して竹の伐採などの現場実習や里山活動の見学会などを組み込んだ研修を実施した。

## □ 事業内容

### 里山保全ボランティア研修

- ・市内外延べ19名の方に対し、全2回の研修を実施。研修の内容は、里山活動についての座学や見学会、森づくりのプランニング、竹の伐採などの現場実習である。

【事業費】187千円（全額森林環境譲与税）

【実績】・全2回実施

- ・延べ19名の方が参加

※参加者は全2回の研修に参加することで、里山活動に必要なスキルを習得できる内容とした。

## □ 研修の様子



(座学の様子)



(チェーンソー体験の様子)



(竹炭作りの様子)



(樹木の見分け方講義の様子)

## □ 工夫・留意した点

- ・座学だけでなく、現場実習や見学会を組み込むことで、里山活動に必要なスキルや知識を習得しやすい研修内容とした。
- ・すでに活動する里山保全ボランティア団体を研修生に紹介することで、研修生が里山活動に参加しやすいよう工夫した。

## □ 取組の効果

- ・今回の研修会等を通して、市民の方々へ森づくりの楽しさや大切さを伝えることができ、森づくりをはじめのきっかけづくりができた。
- ・参加者の中には、研修会に協力いただいた里山保全ボランティア団体に加入された方もおり、市民の方々と団体をつなぐ出会いの場となった。